

北海道共和町と 友好都市連携を

答 教育的効果や実施体制を研究する



知念 富信 議員



問 北海道共和町と友好都市連携を。小中学生の相互交流事業で文化交流、雪体験、民泊等の体験学習の交流事業を導入できないか問う。

教育長 小中学生の相互交流事業については、教育的効果や実施体制、財源等を含め検討する。

問 国内の小中学生交流事業が中止になった理由を問う。

教育長 徳島県つるぎ町と小中学生交流事業を4年間実施していたが、民泊等の受け入れの課題があり、平成29年度以降は中止になっている。

問 共和町から令和10年度に道の駅が完成するので、本町の特産品との交流事業の申し出がある。経済活性化事業として取り組めないか問う。

副町長 町商工会、JAおきなわ両支店等、町内関係団体や町内事業者の意向も踏まえて情報収集を行う。

兼城十字路にある
電光掲示板の再開を

問 電光掲示板は長年放置された状態にある。公共掲示板として再設置できないか問う。

副町長 電光掲示板企業広告の会社にヒアリング等で既設の電光掲示板に取り付ける形での整備を検討している。

通学路の安全柵設置を



安全柵のない歩道

問 大名交差点から北丘向け両側は通学路であるが、歩道に安全柵がなく危険であると町民から設置の要望がある。早めに設置できないか問う。

まちづくり振興課長 令和5年度に北丘小学校周辺地区として、生活道路安全対策の計画書を協議会で策定して実施に移しているが、次期の計画書で検討する。

大名地区の市街化区域
編入を

問 大名地区は南風原バイパスの完了に向けて都市部に近く開発が期待される地区であり、市街化区域編入に向けて調査検討すべきではないか問う。

副町長 大名地区は市街化調整区域内だが住宅立地緩和区域なので、住宅建築が可能な区域であり、市街化区域編入には、区域区分の見直しの厳しい基準があり大名地区は合致しておらず難しい。